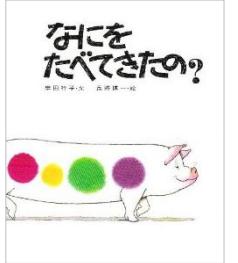
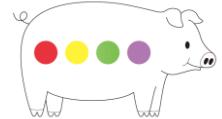


シータータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：「こんにちはー」ぶたのペーパーサートを持って登場。 講：「あらブタくん。今日は何しに？」 保：「お腹がペコペコ。何か美味しいものがないかな？」 講：「丸くて赤いりんごならあるけど…」とペーパーサート提示。 保：「いただきます。むしゃむしゃ」と食べる真似。「ご馳走様でした」と挨拶してお腹に赤シールを貼る。 講：「あらお腹が赤くなっちゃった…」同様にレモンを食べさせて黄色のシールを貼りその変化を見せる。「もっと美味しいもの見つけて食べたらもっと綺麗になるのかな？」と期待を持たせて、お話を始める。 	教材 ★絵本 ★iPad(シーターセット) ペーパーサート (ぶた・りんご・レモン) シール(赤・黄)	
	①「はらぺこ白ブタくん」を演出する。だんだん大きくなる姿を伝えながら読み進める。 ②食べ物(果物)やその色の名称を確認したり、「みんなも食べてみる?」と声を掛け、「甘いね」「すっぱいね」と子ども達の感覚を刺激しながら進行する。 ③最後になぜ再び白くなったのか「石鹼」にも興味を持たせながら話す。(手洗い等の生活指導に繋げる)		
読み方	①「はらぺこ白ブタくん」を演出する。だんだん大きくなる姿を伝えながら読み進める。 ②食べ物(果物)やその色の名称を確認したり、「みんなも食べてみる?」と声を掛け、「甘いね」「すっぱいね」と子ども達の感覚を刺激しながら進行する。 ③最後になぜ再び白くなったのか「石鹼」にも興味を持たせながら話す。(手洗い等の生活指導に繋げる)	保育士の役割 ・ペーパーサートの提示 ・子ども達と一緒にあってお話を楽しむ	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	色	果物の色に興味を持ち、果物と色を一致させることができる。			
設問	白ブタくんの食べたものはなに?			教材 P 1 果物シール(4種) P 1 提示プリント P 1 提示果物シール (4種) ※シールは4種1人ずつ皿に入れて準備する おはじき 皿(数チャレ用・ゴミ用)		
	<ul style="list-style-type: none"> 講：絵本の最後のことばを受けて「ブタくんいっぱい美味しいもの食べていたね」 保：「こんにちは」と提示プリント持って登場。 講：プリント受け取り「ブタくん、今日も美味しいもの食べてたね」これは(赤)何色?」「赤は何食べた?」とお話を思い出させながら子ども達に色と食べた物を尋ねる。返答を受けて果物シールを見せながら「ピンポン!丸くて赤いりんご」と確認。ブタのお腹の色と照らし合わせて同じ色の上に果物を貼って見せる。(テープのゴミは皿の中)同様に黄色・黄緑・紫=レモン・メロン・ぶどうもテンポよく提示し貼って見せる。(認識の薄い紫・黄緑は意識して伝える) 講：「みんなのところにもブタくん遊びに来たみたいよ」 保：「ぶーぶー こんにちは」と配布して行く。 子：自ら手を伸ばしてプリントを受け取り、講師と一緒に4つの色を指さし確認する。 講：「みんなも果物欲しいね、みんなの分もありますか?」 保：「ありますよ」と果物シールを提示。 					
活動内容	数にチャレンジ <ul style="list-style-type: none"> 保：「今日はおはじき2個と交換です」 講：子ども達と一緒に数えながら、両手で「2個」のおはじきを取りシールと交換する見本行動を行う。 ※「ください」「ありがとうございます」のことばのやり取りもしっかり見せていく。 子：見本同様におはじきを「2個」取り「ください」の意思表示をして交換する。 講：「赤いりんごはどれ?」と先ずは1枚、名称と色を確認。五感を刺激するように食べる真似などをしながら「ブタくんの食べたものとぴったんこしてみようか?」と声を掛ける。 子：シールの果物(りんご)とプリントの色を確認しながら貼っていく。 講保：子どもの理解度に合わせて進行。出来そうなクラスは他の3種の果物を自分で貼らせて見守る。その中で不安な子には「黄色いレモンはどれ?」「先生も味見。すっぱいね」など個別に声をかけ、盛り上げ、理解に繋げていく。 講：「ブタくんお腹いっぱいになったかな?みんなで見せっこ」と見せ合い、シールが貼れたことを称賛。「そろそろお家に帰るって」とプリントを回収する。 			保育士の役割 ・プリント提示、配布 ・配布用果物シール提示 ・おはじきと交換でシールを渡す ・理解できない子のフォロー ・個別に声掛け、盛り上げる ・称賛 ・プリント回収		

活動②	ねらい 塗る	メロンの色（黄緑）をクレヨンで大きく、力強く塗ることができる。	
設問	クレヨンで色を塗り、甘くて美味しいメロンにしましょう。		教材 P 2 クレヨン 保育士の役割
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「何だか先生もお腹空いてきちゃったなー」 保：「いいものありますよ」とプリント提示。 講：プリントを受け取り「美味しい…これは何？」と尋ね、子ども達と一緒に「甘くて美味しいメ・ロ・ン」と名称確認。 保：「みんなの分もありますよ」とプリント配布。 講：みんなで味見「何だか美味しい？何でかな？」「そう、色が無いね」とクレヨン提示。メロンの色を確認し、講師は「黄緑」を選び見本行動。 ※クレヨンの準備・持ち方・紙の押さえ方等確認後「ゴシゴシ」をキーワードに力強く塗っていく。 「みんなのメロンも塗ってみる？美味しいしたい人！はーい！」と確認。 保：クレヨン配布。 ※可能なクラスは1人1箱を与えて蓋の開閉も一緒にていく。 子：講師の持つ色と同じ「黄緑」を選び、講師と一緒にリズムに合わせて塗っていく。 ※色に関しては、全体で確認しているので、他の色が良ければ無理強いをしない。 講：最後にプリントを見せ合い称賛。「いただきます」と味見をしてから終了する。 		<ul style="list-style-type: none"> 提示プリント提示 プリント配布 クレヨン配布 クレヨンの準備、握り方等確認、必要に応じて補助 エレビ演奏 称賛 プリント回収

数チャレ	ねらい 数	多数のおはじきの中から「2個」取ることができます	教材
設問	おはじきを「2個」取り果物シールと交換しましょう。		
活動内容	※<活動①>の中で実施します。		

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	次は何色になるのだろうと期待を持たせながら読むことが出来たか
活動①色	色と果物が一致できるような問いかけ（「黄色くて酸っぱい」等）を行ったか
活動②塗る	クレヨンの持ち方・紙の押さえ方の指導を行ったか
数チャレ（2個）	活動①に含む：個別対応を行ったか

練習タイム♪

*** テーマ・色 ***

色探しゲーム

<遊び方>

①先ずはお部屋を探検。「赤見つけた！」などと色の見つけっこ遊びを楽しみましょう。
※ゲームの前にお部屋にある色の確認にもなります。

②続いて大人が下の絵の様に見つける色の指示を出し、子どもたちが見つけていきます。
※色の認識が弱い子には、ことばだけでなく折り紙などで実際に色を示して確認してあげてください。



今月のえかきリズム

*** あめ ***



えかきリズムの動画は こちら ➡

楽習タイムの動画は こちら ➡